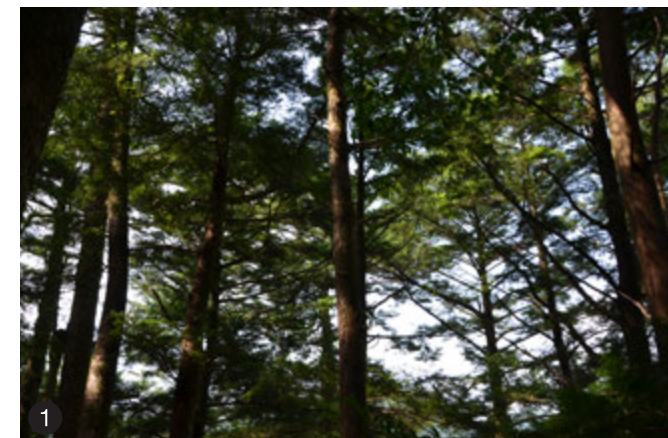


たか とり やま
鷹取山植物群落保護林
ゆすはら郷土の森

鷹取山はモミが多く生え、ツガやヒノキなどの針葉樹に混じって、アカガシやスダジイ、ホオノキなどの広葉樹が生育する原生林です。保護林の横には四万十川の支流の一つ北川川が流れ、付近には、我が国の野鳥の中で最も美しいといわれている「ヤイロチョウ」が生息しています。また隣接するモミ・ツガの森は「ゆすはら郷土の森」に指定されています。



① 林内はモミやツガが多く生育しています。② 巻込株。昔盗伐された切株が死なずに切り口を巻き込んだもの。周辺の木と根がつながっているため、このように現在も生きています。③ スギタケ(9月)。食用になりますが、人によっては中毒を起こすことがある紛らわしいキノコ。林内にはツガの枯木に生えるツガサルノコシカケや、モミに生えるモミタケをはじめ、ハタケシメジ、ニンギョウタケ、オオツルタケなどの様々なキノコが生えます。④ エリマキツチグリ(9月)。真ん中の丸い所に多量の胞子が入っており、さわると胞子が煙のように吹き出します。昔はやけどの薬に利用されていました。